

「ともに こどもたちが主人公となる保健・体育科教育の授業をつくろう」

～ こども・同僚同士がつながりあっていくプロセスを通して ～

3

コロナ化を経た今、体育で子ども達につけたい力とはどのようなものなのか。体育の意義を問い直し、子どもたちの成長する意味のある体育を創造していくことが重要ではないでしょうか。

本研究会では、体育研究同志会東播ブロックで一緒に研究活動をしている松浦先生が、4年生の子どもたちとつくりあげた運動会実践です。技を連続させるおもしろさや複数で表現することによって表現のバリエーションが広がる楽しさを伝えるたに取組んだものです。なわとびが子どもたちをつなぎ、集団をつなぎ、教師間をつなぎ、1つの集団にするものであったと実感できた実践です。

本年度のテーマにある「こども・同僚同士がつながりあっていくプロセス」について議論していく中で、その意味や価値、授業作りについて一緒に考えていきましょう。

ぜひ、職場のお仲間をさそって気軽にご参加ください。

【日時】 2025年12月6日（土）
12時30分受付 1時00分開始 16時00分閉会

【場所】 兵庫県加古川市立浜の宮小学校
(兵庫県加古川市尾上町口里 770-37)

【日程】
12:30～ 受付

13:00～ 開会 挨拶

13:10～ 実践報告 松浦 友輝 先生（ 加古川市立別府西小学校 ）
「小学4年生 運動会で集団短縄表現の実践」

15:00～ 実技講習

15:50～ 閉会 挨拶

【参加費】 500 円

【申込み・問い合わせ先】 小松 北斗（こまつ ほとと）
携帯番号：080-9476-9888

